

PDCAチェックシート

実施年度	令和5年度		担当課名	総務課
事務事業名	選挙啓発にかかる事業			
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 若年層をはじめとした有権者の政治意識の向上を図り、長期的な観点から投票率を向上させる取組が重要であることから、義務教育段階からの選挙啓発に取り組み、全年代の中でも特に低い水準にある若年層の投票率の改善を図る。		■具体的取組 ○選挙啓発出前授業の実施 ○若年層向け選挙啓発冊子の配布 ○児童・生徒向け選挙啓発ポスター作品募集	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 市内学校関係者の協力を得て土曜日授業で選挙啓発出前授業を2回実施した。選挙クイズや模擬投票実施による参加・体験型の内容としたことで、事後アンケートでは出席した児童から高い関心を得たことが確認できた。自由意見欄では、実際の選挙機材を持ち込んだことや、模擬投票体験に係る記載が多い一方で、投票により社会に参画する意識を醸成する効果もみられた。 選挙啓発出前授業はこれまで継続的に実施しておらず、また、県内でも市単独で出前授業を実施している市町が少ないことから、ノウハウの蓄積が十分ではなく、今後、児童・生徒の興味を一層喚起し、将来の有権者の政治意識の向上につながるよう授業内容に一層の工夫が必要。 出前授業実施状況については市ホームページや市広報に掲載したほか、選挙啓発冊子の配布や選挙啓発ポスター作品の募集とあわせて、若年層を中心に広く選挙の必要性について周知ができた。	■検証結果を受けての具体的対応 選挙啓発出前授業については継続して取り組み、今後は、学校関係者との連携のもと、出前授業に限らず、教育現場での多様な選挙啓発機会の確保を目指す。 総務省主催者教育動画の活用及び他市町の選挙啓発担当者との意見交換・情報共有に務め、選挙啓発出前授業の内容充実を図ることとあわせて、政治意識向上のため、選挙啓発出前授業における模擬投票結果の検証時間を確保する。
■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 選挙啓発出前授業の事後アンケートによる効果検証 ① 選挙への興味喚起の契機として ⇒ 出前授業への評価 80%以上 ② 投票行動への動機付けとして ⇒ 将来の投票への展望 80%以上の意見を受講した児童・生徒から得る。 【達成値(R5実績値)】 選挙啓発出前授業実施回数 2回		■インプット(投入金額等) 事業費等 ○報償費 20千円(啓発ポスター募集記念品) ○使用料及び賃借料 1千円(駐車場使用料)		
■大内小学校6年生 17名出席 出前授業が面白い 76.5% 18歳になったら選挙に行く 76.5%		■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○選挙啓発出前授業を2回実施。 ○市はたちのつどい出席者に選挙啓発パンフレット配布(280部) ○選挙啓発ポスターについて市内小中学校の児童・生徒から39点の応募。		
■引田小学校5年生 15名出席 出前授業が面白い 93.3% 18歳になったら選挙に行く 85.7%				

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。